

2012年12月7日

◇◇◇◇党 殿

全国医師ユニオン代表 植山直人

TEL : 03-5825-6138

FAX : 03-5825-6139

## 医療再生と勤務医の過重労働に関する公開質問状

連日のご活躍に心から敬意を表します。私たちは、全国医師ユニオンは、勤務医の労働組合です。

今日の医療崩壊といわれる現状の根本的な原因は、医療費抑制を目的とした医師数抑制政策です。そして一部の医師の過重労働が限界に達することにより、勤務医の大量退職による病院の縮小・閉鎖や救急の受け入れ困難という形で医療崩壊が起きました。

従って、医療崩壊の原因は、勤務医の労働問題にあると言えます。これまで日本の勤務医は労働基準法を無視した勤務状態のもとで懸命に働いてきましたが、地域医療を守るためにも医師が健康でやり甲斐を持って働ける健全な労働条件を作る必要があります。医療の安全性の点からも先進国では医師の労働時間の制限等の規制が進められています。また、日本の人口あたりの医師数は先進国最低で世界で64位となっていますが、今もって医師養成数は先進国最低です。

私たちは勤務医の労働条件の改善と医療の再生を求めて、厚労省への要請行動を行うなどの活動を行ってきました。しかし、今年実施した勤務医の調査では、2年前より負担が「増えた」が「減った」2倍であり、「健康に不安」や「病気がち」は半数近い47%。さらに、「最近やめたいと思うこと」の間では「いつもあった」と「時々あった」を合わせると34%、「まれにあった」も含める62%に上ります。また、医療過誤の4大原因は、「医師の負担増」・「時間不足」・「スタッフ不足」・「過剰業務による疲労」となっています。

政府・厚労省は勤務医の負担軽減を進めてきたとされますが、改善どころか負担増が増えています。高齢化と医療技術の進歩で医療の需要は確実に増えていますが、それに見合う医師の供給がなされていないことが根本的な原因であると考えられます。

12月16日投開票で行われる衆議院選挙において、医療は大きな争点の一つとなります。日本の医療を守る上で、勤務医問題は避けて通れない大きな問題です。各党の医療に関する政策と勤務医問題に対するお考えをお聞きしたいと思います。大変お忙しいところとは存じますが、有権者の投票に向けた判断材料のひとつとさせていただきますので、是非とも御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容については、そのまま公開させていただくこと、ご回答いただけなかった場合は、その旨公開させていただくことをご了解くださいますよう、重ねてお願い致します。

# 医療再生と勤務医の過重労働に関する公開質問への回答書

政党名

回答者  
(部署)

## 1、国民皆保険制度について

現在、保険証を持ってない国民が増加し、制度の危機が危惧されています。党として、積極的に国民皆保険制度を維持する政策を持っているのでしょうか。貴党の政策やお考えを回答下さい。

(ご回答)

## 2、医療費について

医療費抑制政策によって、日本の医療崩壊は進みました。医療崩壊から医療を再生させるために医療費を増額させるべきと考えるのか、医療費は抑制すべきであると考えているのか、貴党の政策やお考えを回答下さい。

(ご回答)

## 3、勤務医の過重労働について

ほとんどの医療機関では医師に対して労基法が守られておらず、32時間を超える連続労働が当たり前となっています。欧米では安全性の点から、医師の労働時間の上限が設定されています。勤務医の負担軽減に関する貴党の政策やお考えを回答下さい。

(ご回答)

## 4、医師数の増員・スタッフの増員

医師不足は、都市部・過疎地域を問わずに深刻です。人口あたりの日本の医師数と医師養成数は先進国最低となっています。医師数の増員や医療スタッフの増員に関する貴党の政策やお考えを回答下さい。

(ご回答)

## 5、貴党の医療政策について

その他、貴党の政策やお考えを回答下さい。

(ご回答)

※ 12月11日までに全国医師ユニオン宛 (FAX 番号 03-5825-6139) ご返送いただきますようお願い致します。